



道しるへ

令和3・1
No.59

「この道の向こうには、夢がある」



- 新年のあいさつ [会長]、ひとり親家庭自立支援センターの事業 P. 2
- 新年のあいさつ [知事]、知事と新入学児童等のつどい P. 3
- 知っとコーナー P. 4
- 母子部地域別交流会、ブロック別懇話会 P. 5
- 結成 70 周年記念表彰 [知事表彰・会長感謝状] P. 6
- ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業 P. 7
- 宇多野 YH 野外・宿泊体験、指導者研修会、あしがき P. 8



「新しい夢にむかって」

京都府母子寡婦福祉連合会 会長 佐竹 幸子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新年を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振り、自粛生活を強いられました。医療関係者の方の懸命な治療の甲斐なく亡くなられた方々に心からご冥福をお祈りいたしますとともに、罹患された方々に対し、お見舞い申し上げ一日も早く元の生活に戻られることをお祈りいたします。

さて、令和2年度は、当会の結成70周年の記念の年でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により京都府大会の開催はやむなく中止となりました。一堂に会し、元気なお顔を見ることは叶いませんでしたが、支会長を中心に知恵を絞って企画した70周年記念誌は、令和3年3月発刊予定です。皆さんのお手元に届くまで楽しみにお待ちしております。

新型コロナウイルス感染症の影響で生活様式は一変し、三密（密接・密集・密閉）を避けるという不自由な生活が続いています。小学校や中学校の休校による食費の増加、未就労による給与の減少や雇止め、倒産など生活が困窮しているひとり親家庭にはつらい日々が続く、給付金や児童扶養手当の上乗せ等はあったものの、生活基盤の脆弱なひとり親家庭等の生活は益々厳しくなっています。

このような状況の時こそ先人が歩まれた様に、経験豊かな知恵の寡婦会員と、新しい知識の母子会員が手をつなぎ一歩ずつ歩いていかなければなりません。令和3年は、魅力ある母子会にするため、会員一人一人が十分に力を発揮し、母子寡婦福祉の推進と、未来を担う子どもたちのために協力し、会員獲得の新しいスタートの年となることを祈念します。

最後になりましたが、西脇知事様をはじめ関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、今まで私たちの会を支えていただいた会員の皆様に心よりお礼申し上げ、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。



「夢や希望を持てる未来へ 上を向いて歩もう」

京都府知事 西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つががなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症によって、府民生活や社会経済活動が経験したことのない甚大な影響を受けた年でありました。さまざまな困難の中、感染拡大防止にご協力を頂いているすべての府民の皆さま、事業者の皆さま、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類は長い歴史において幾度となく感染症の脅威にさらされながら、必ず乗り越えてきました。

「下を向いては、虹を見つけることはできない

～You'll never find a rainbow if you're looking down～」

これは世界の喜劇王、チャールズ・チャップリンの言葉です。コロナ禍を乗り越えた先にある、未来に夢や希望を持てる新しい京都に向かって、われわれは上を向いて歩んで行かなければなりません。そのための足元固めとして、医療・検査体制については関係機関の協力のもと、京都府

が責任を持って対応してまいります。また、地域経済に活力を取り戻し、府民の皆さまの生活と雇用をしっかりと守ってまいります。その上で、京都府総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、府民の皆さまが実感できる積極的な施策を推進し、全庁一丸となって取り組みをさらに加速させていく所存です。

いよいよ本年には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が、翌年には「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が開催されます。人類が新型コロナを克服した証しとして大会を成功に導き、さらには2022年度中の文化庁の全面的な移転など、京都の持つ文化の力で、地域の隅々まで光が満ちるように元気な未来を築いてまいります。

本年は丑年。牛の歩みも千里と申すように、一歩一歩、力強く歩みを進め、成功を導く年とされています。地域に子どもたちの笑い声が響き、すべての府民が笑顔で過ごせる京都を実現するため、皆さまと共に歩んでまいりたいと願っております。

皆さまにとりまして、本年が健やかで幸多き一年でありますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

自立支援センターだより

—ひとり親。。。だけど ひとりぼっちじゃない—

「ひとり親」になった、離婚を考えている、「ひとり親」として生きる、そういう場面に直面したとき、『どうしたらいいんだろう』『誰に相談したらいいんだろう』『誰か助けて!』と思うとき、どんなことでもまずは相談できるのが当センターです。人は「話す」ことによって心が軽くなったり、考えを整理したり、前に進む力を得ることができます。

従来の就職準備・心を癒やすためのセミナー・メール・電話相談に加え、「WEB相談」や不要になったり欲しい物を無料で提供しあう「ゆずります!もらいます!」の取組みも始めました。人間関係が疎遠になりがちな時代、今後のキャリア（生きる道筋）をどうつくっていくのか就労・離婚・弁護士相談・生活相談など、希望の未来へ、ひとりで悩まずご相談ください。



WEB相談



ゆずります!もらいます!

ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい

今年も京都府・府母子寡婦福祉連合会・府民生児童委員協議会の共催で、次のとおり開催されます。知事さんと一緒に親子でゲームを楽しめます。

- 日時** 令和3年3月13日(土) 10:30~14:30【予定】
- 場所** 京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)
- 参加対象** 新入学児童とその親(兄弟姉妹も一緒に参加していただけます。) ※昨年に申し込んでいない在学1年生も対象です。
- 内容** お祝いの会(知事と一緒に親子でゲーム、記念品のプレゼント) あそびのひろば(子ども)、講演会(親)
- 申込方法** 各地域母子会会長あてに申し込んでください。
- 申込期限** 令和3年1月29日(金)



多くの子どもたちにお声かけください!

自立に向けて相談したいけど、出かけることが難しい

京都府ひとり親家庭自立支援センターWEB相談

【対象】ひとり親家庭の就労・離婚・生活などの問題(相談は50分程度)

【費用】無料(通信料はご利用者様のご負担となります)

【申込方法】お申込みフォームからご希望日時を連絡(インターネットに接続されたスマートフォン、タブレットまたはパソコンが必要です。)

【お問い合わせ】京都府ひとり親家庭自立支援センター 南部センター 075-662-3773(日・祝日休み) 北部センター 0773-23-2771(土・日・祝日休み)



養育費などを相談したい

無料弁護士相談

※離婚、養育費関係を取り扱う弁護士が対応します。

【対象】1. 養育費、離婚等の手続きにお悩みの京都府内在住の方 2. お申込み前にひとり親家庭自立支援センターでの事前相談を受けている方

※1、2の条件が必要です。(相談は50分程度)

【相談日】毎月第1・第3金曜日 13:30~16:30 まで

【相談場所】京都テルサ東館2階 マザーズジョブカフェ内

【保育ルーム】利用2日前までに要申込み。(3か月から就学前の子どもが対象)

【お問い合わせ】京都府ひとり親家庭自立支援センター(南部センター 日・祝日休み) 母子 075-662-3773 父子 075-692-3478



学校行事や急な病気の時！少し助けてほしい

ひとり親家庭日常生活支援事業

【対象】京都市を除く京都府内にお住まいのひとり親家庭のお母さん・お父さん、寡婦の方で、急な病気や事故、冠婚葬祭、出張、PTA等の学校行事、技能習得の講座受講や就職活動などで生活援助や子育て支援が必要な方 ※事前登録が必要(お住まいの地域の京都府保健所で登録)

【支援単位と期間】1時間単位

【費用】1時間につき0円~300円以内(内容、児童の人数によって異なります)

【支援体制】研修を受け、登録を済ませた支援員やホームヘルパーなどの資格を持つ支援員が支援します

【お問い合わせ】お住まいの京都府保健所



新型コロナウイルス感染症の影響のもと、ひとり親家庭のみなさんに役立つ情報を提供します!



収入の減少や失業等により生活に困窮し、貸付を受けたい

生活福祉資金(特例緊急小口資金)

【貸付対象者】

【主に休業された方】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生活維持のための貸付を必要とする世帯

【貸付上限額】

学校等の休業、個人事業主等の特例20万円以内 その他の場合10万円以内

【お問い合わせ】

▶各市町村社会福祉協議会 ▶厚生労働省 個人向け緊急小口資金・総合支援資金相談コールセンター TEL 0120-46-1999

住居を確保したい

府営住宅(特定目的による優先入居)

【募集】南部地域(山城地域)年3回(2月・6月・10月) 北部地域(中丹地域 丹後地域)年2回(6月・12月)

【お問い合わせ】

南部地域 家庭支援課 ひとり親家庭支援担当 TEL 075-414-4585 ※申し込みは、各市福祉事務所 京都府保健所(広域振興局健康福祉部)

北部地域 綾部市、舞鶴市内に所在する団地...中丹東保健所福祉室 TEL 0773-75-0856 FAX 0773-76-7897 福知山市内に所在する団地...中丹西保健所福祉室 TEL 0773-22-5766 FAX 0773-22-4350 宮津市、京丹後市及び与謝野町に所在する団地...丹後保健所福祉室 TEL 0772-62-4302 FAX 0772-62-4368

会社の指示で休業しているのに、会社から休業手当が支給されない

新型コロナウイルス感染症対応休業支援金

【対象】

新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための影響により、令和2年4月1日から令和3年2月28日までの間に休業させられた中小事業主の労働者であって、休業期間中の賃金(休業手当)の支払いを受けることができない方

【お問い合わせ】

新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金 コールセンター TEL: 0120-221-276 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金HP https://www.mhlw.go.jp/stf/kyugyoshienkin.html

北部

南部

母子部地域別交流会

舞鶴市母子福祉会 常塚 朋子

実施日:11月22日(日) 実施場所:舞鶴市南公民館



本来ならばもっと早い時期に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今になってしまいました。

多くの人に参加していただけるのに、人数も制限しなければと考えると残念ですが、実施することができ、ほっとしています。

皆様が今年度初めて顔を合わせることができ、短い時間の中で一人一人が自分の思いを語り、とてもいい交流会だったと感じました。

終息の目途が全く立たない中でも、色々と考えて少しずつでも今までのような行事はできなくても、工夫を凝らしてできればと考えます。



城陽市母子寡婦福祉連合会 矢野こころ

実施日:11月8日(日) 実施場所:文化パルク城陽

新型コロナウイルスの影響を受け、各支会ともいつもの活動が出来ない中、各支会長をはじめ、各支会の母子連絡員のご協力のもと、消毒や換気を徹底して開催しました。

まず、子どもと一緒にプラネタリウムを観てもらいました。その後、子どもたちはスライム作りへ。幼児から高校生の子どもたちが楽しそうに混ぜ混ぜしていました。

母たちは、別室でグループに分かれて話し合いました。仕事面での問題はなかったものの、子どもが1人で家にいて、ケータイやゲームばかりしているのが心配との声が多かったです。

堅苦しくならず、リラックスした状態で発言することで、笑ったり、共感して安心したりできたと思います。

今後、活動していくにあたって、何でも言える場を作ることも大切だと思いました。



ブロック別懇話会

一般社団法人 宇治市連合母子会 島崎 陽子

実施日:11月1日(日) 実施場所:ゆめりあ宇治

宇治・城陽・久御山の支会から集まった懇話会は、このコロナ禍の中、少人数規模で思案しながらの開催でした。

今回のテーマは各支会の居場所事業の現状、会員獲得に向けた取組みについて。冗談飛び交う和やかな良き雰囲気でのスタートでした。

何せコロナで生活が激変。通常なら椅子は並べて設置し、すぐお隣の席の方とお顔でも見合わせ話しかける光景も見受けられるのですが、飛沫感染対策で、間隔も空けての着席でした。

自己紹介、各支会の居場所づくり、全員意見交換は、会員獲得に向けた取組みについての討議でした。

とても中身の濃い素晴らしい会話が飛び交う時間でした。やはり入会していただくには、身をもって感じてもらえる、口や目で楽しむことを体験していただくのが一番では?と話は弾みました。

この懇話会でお会いできました全役員の方に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。その思いに触れて、貴重な、宝物にも値するようひとときでした。



新型コロナウイルス感染症の予防



STOP! 感染拡大 COVID-19

京都府母子寡婦福祉連合会
結成70周年記念

知事表彰及び
会長感謝状贈呈者 (五十音順)

知事表彰

宇治市 田中 稔子
八幡市 梁間八千代
京田辺市 金谷みつ子
精華町 大西史万子
亀岡市 奥村 加代
綾部市 神内千恵子



特別功労者 京丹後市 平 清美さん

会長感謝状

◎永年在職者

久御山町 中井 知子
久御山町 南 るり江
南丹市 勝田恵美子
京丹波町 町元 栄子
京丹波町 山崎美矢子
京丹後市 西馬 静子



公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団

◎特別功労者

向日市 足立 早苗
向日市 山口 房子
宇治市 北野ますみ
宇治市 濱田 幸子
城陽市 奥野 経子
井手町 神村 有美

木津川市 浦田 幸枝
木津川市 川村 和世
亀岡市 山田 智子
宮津市 池田 里乃
京丹後市 平 清美

◎こどもの居場所づくり事業功労者

向日市三つ和母子会
長岡京市三つ和母子会
(アイリスガーデン)
(バンブーガーデン)
大山崎町三つ和母子会
一般社団法人 宇治市連合母子会
城陽市母子寡婦福祉連合会
久御山町母子寡婦(さつき)会
木津川市母子会

川崎 理恵

シヨン・ホーク・ネピア 前川 美貴
西川 静子 藤澤 芳子 吉田五十春
幸山 由佳 下田 正義 橋本 弘子
石田 翼 坪根 依子 藤井ナラエ
新井 安子 竹田富美子
寺岡 幸子
青山由起子 島田 浩 霜田 勤
菅原 民生 太井子紀代子 藤河 純子

京丹波町母子寡婦福祉会
舞鶴市母子福祉会
(東)
(西)

榎川裕美子 塩貝 雅美
有本 準正 有本 道子 甲斐 由香 安原 久子
太田 和代

◎法人・団体

公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団
医療法人 創健会 西村診療所
社会福祉法人 読売光と愛の事業団 (大阪支部)
株式会社 堀内八郎兵衛

乙訓退職教職員の会
京都府信用漁業協同組合連合会
五丁目パン工房 ほたはる
株式会社 スリーエスフーズ
フードバンク長岡京



社会福祉法人 読売光と愛の事業団 (大阪支部)

こどもの居場所づくり事業

おうばく塾・
食育わくわくキッチン

一般社団法人 宇治市連合母子会 北野ますみ

毎週水曜日 午後4時より開催しています。
音楽教室・英語教室・今年度は親子にて漢字検定にも挑戦し、塾生から満点合格が出ました。おうばく塾では、毎日コツコツと積み重ねていけるよう、意欲的に学べるよう学生スタッフ共に見守っております。
また、母親のための相談会として、臨床心理士の先生からの丁寧なアドバイスを受けておられました。今年度はリモートにて開催です。
この他に、アート教室・夏休みお楽しみ教室・フラワーアレンジメント教室・クリスマス会など勉強だけではなく幅広く楽しみながら飽きるこないよう工夫を凝らした教室となっています。



今年度より新たに食育としてわくわくキッチンを開催しています。8月より、パウンドケーキ・生地からつくるピザ作りを少人数制からスタートとなりました。月2回程土曜日に開催です。

また、わくわくキャンプも開催しました。『テント設営及び着火剤を使わず火をおこそう!』『ピザ窯を使いピザ・ローストチキン・グラタン・かまどでご飯・カレーを作ろう』という目標を掲げて、協力し楽しみながら行うことが出来ました。



お腹いっぱいになったら、子どもたちは、その場にあるもので工夫し、釣竿を作って釣りをしたりと、自然を舞台に体を動かし満喫していました。母親たちは、マイナスイオンを浴びながらの交流会を行いました。

親子で野外ダッチオープンクッキング&ユースホステル宿泊体験



ボルダリングに挑戦!

去る令和元年12月21日(土)~22日(日)、京都市宇多野ユースホステルから「Sleep for Peace京都2019」という事業にご招待いただきました。これは全国のユースホステルが連携し実施された『ユースホステルから旅を贈ろう』という事業をもとにして企画された事業で、当会からは8組21人が参加しました。

子どもたちは、ユースホステルの二段ベットにはしゃいだり、初体験のボルダリングに難しさを感じたりと、普段の生活とは違う体験をしました。

野外でのダッチオープンでは、生地から手作りのピザや鶏の丸焼き、スペアリブ、絶品壺焼き芋を、加えてちらし寿司などの豪華な食事で舌鼓を打ちました。

翌朝もおいしそうなメニューが並び、『全部食べたい!』という気持ちを抑えつつ、朝食をいただきました。

参加したお母さんからは、『お兄ちゃんがお風呂に入れてくれたから、安心して女風呂に行けました。』や『我が子が小さなお友だちの世話をしている姿など、普段では見ることのない様子に優しさを垣間見て、より一層、親子の絆が深まった。』との感想が聞かれました。

貴重な体験の場にご招待いただき、ありがとうございました。



鶏の丸焼き作り

母子寡婦福祉指導者研修会について

地域母子会のリーダー的立場にある方に、指導者としての必要な研修を行い、さらに母子家庭及び寡婦の自立促進と地域母子会の発展に向け「今後の活動の活性化に向けて」をテーマに講演会、意見交換会などを行う予定です。ぜひご参加ください。

日時：令和3年2月21日(日) 13時30分~15時30分
場所：京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)
参加対象者：各支会の役員、母子連絡員など



事務局員の異動

新任 三宅小百合 よろしくお願いたします。

KYOのあけぼのフェスティバルにはぜひみなさんも!

KYOのあけぼのフェスティバル実行委員 佐竹幸子

11月21日(土) 京都テルサにおいて、第32回KYOのあけぼのフェスティバル2020が開催されました。

あけぼの賞表彰式の後、京都府立大学の塚本康浩学長による講演『ダチョウに魅せられて』を聞きました。「危ないウイルスを扱っている自分が好き」と言われる先生は、①経路遮断②ワクチン③治療薬が必要であり、「withコロナの生活様式を守りましょう」と楽しいお話をされ、12時ジャストに終了しました。ダチョウ抗体マスクは西脇知事も使用されているそうです。

みなさん、一緒にKYOのあけぼのフェスティバルに参加しましょう。



京都府立大学長による講演『ダチョウに魅せられて』

お見舞い

令和2年7月豪雨災害では、熊本を中心とした九州地方や中部地方各地に多くの被害が伝えられました。

当会としても各支会からの義援金をとりまとめ、全国母子寡婦福祉団体協議会にお届けしました。

心からお見舞い申し上げます。

あなたも「母子会」に入りませんか?

母子会は、あなたと子どもたちが安心して暮らせる社会づくりを目指して活動しています。

あなたの近くにも母子会があります。どうぞ気軽にお問合せください。

お問合せは、各地域の母子会

または 京都府母子寡婦福祉連合会事務局(電話075-223-1360)

あ と が き

あけまして おめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

行事が中止になる中、“道しるべ”の編集をさせて頂きました。少しでも活用してもらえ嬉しいです。

今回も寄稿お世話になり、ありがとうございました。

会って話すことのできない時ですが、希望をもって挑戦し、楽しい年になりますようお祈り申し上げます。

(谷山 吉田)

社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 佐竹 幸子

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<http://hitorioya.kyoto/>

